

▶ 稚内開発建設部から本学学生へ感謝状が贈呈

稚内開発建設部などが主催する「SoyaLabo10 シンポジウム」のPRポスターを制作した本学3年鎌田美優さんへの感謝状が1月29日、育英館大学にて、贈呈されました。



鎌田美優さん（写真中央）

ポスターは「宗谷地域の未来を創る」ことをテーマに、宗谷丘陵や風車、牛、海を立体的な3DCGで表現した作品です。

感謝状を受け取った鎌田さんは、「自身がデザインしたものが地元で使われることで、地域貢献に繋がって嬉しい」と喜びを語りました。

▶ 卒業証書・学位記授与式を挙行

3月17日(火)、育英館大学2025年度卒業証書・学位記授与式を挙行了しました。



ご家族や、多くの来賓の方々が見守る前で、32名（稚内本校11名、京都キャンパス21名）が卒業しました。

▶ 社会人対象のプログラムを開講しています

本学では、本学講義科目のうち、地域経済の活性化を支える人材を育成するために社会人向けにいくつかの科目を受講料無料で提供しています。

開講期間は2026年9月～2027年1月までの全15回で、日中の通常授業を学生とともに学んでいただけます。詳細につきましてはお問合せください。

科 目	担 当
Webプログラミング基礎	佐賀 孝博
UNIX基礎・実習	浅海 弘保
ネットワーク概論・実習	浅海 弘保

教員を紹介します⑨



育英館大学
教授 小泉 信也

2009年着任、2023年度より京都キャンパス所属となり4年目の京都生活を迎えます。元々は画像処理を専門としていましたが、下手の横好きが幸い(?)してか、現在は放送文化や自動車文化をテーマとした研究に軸足を置いています。2025年度の卒業研究では、学生が“実写ラジオ”と名付けた、ラジオに映像をつける将来像として実践的な映像作品の企画制作を行ったり、スカイラインという自動車の論考に手持ちの資料を提供したり、学生と一緒に新しい価値を生み出す手応えを得ました。まだまだ手がけられていないことも多く、Fab（コンピュータを使ったものづくり）や、AI、ロボティクスなど興味は尽きません。

私が担当する講義は、プログラミング科目を主としています。“科学・モノは嘘をつかない”を信条に、机上の理論の理解と、それを自ら手を動かして再現・検証して、事実として身につけていく実学としての学びを目指しています。

学生と制作するラジオ番組の担当は早14年目となりました。FMわっぴ〜で水曜18時から放送中の“デジたる?!”で、稚内のみなさまには今後ともお耳にかかります。

よろしくお願いいたします。

寄付ありがとうございます

多大なるご支援・ご寄贈いただき、深く感謝申し上げます。(2025年10月16日～2月28日)

■LED照明器具の寄贈

・株式会社 まるでん 様

■図書の寄贈

・山本建設株式会社取締役会長 菊池 工 様

編集・発行

育英館大学後援会

住所 北海道稚内市若葉台1丁目2290番地28

電話番号 0162-32-7511

ホームページ <https://www.ikueikan.ac.jp/>

在籍学生数

(2025年5月1日現在)

180名

(内留学生92名)

育英館大学後援会

会報 No.9 2026年3月31日発行



本学発祥のイベント「わっかないコーヒーフェスティバル 2026」を開催しました。1月24日から2月24日は、同イベントにご賛同いただいた市内市外の喫茶店30店でのコーヒースタンプラリーを行ったほか、最終日の2月24日はキタカラアトリウムにてコーヒーイベントを開催し、多くの皆さんにご来場いただきました。

町中のコーヒーを飲みくらべ

WAKKANAI COFFEE FESTIVAL 2026

わっかないコーヒーフェスティバルの歴史

本学が国から認可を受けた「地（知）の拠点整備事業」（COC事業）内で、中央商店街活性化の目的で行われた「稚内中央商店街イベントプランコンテスト」（主催：稚内中央商店街振興組合）が2015年12月に開催されたことに始まります。

稚内は江戸時代後期からコーヒーが飲まれている「コーヒーと歴史が深く結びついている地」であり、また「多くの喫茶店があり市民の皆さんに親しまれている」といった部分をイベントに結び付けられなかと学生が企画し受賞しました。

コロナ禍以降はイベント会場をキタカラ（JR稚内駅等がある複合施設）に移動し継続。今年で10周年（11回目）のイベントとなります。



第1回イベント(2016年2月13日)

発案した当時の学生にお聞きしました

当時、イベントプランコンテストの話があった際、同じゼミナールのメンバーを中心に、いくつかのイベント案を考えました。

その中で、大学の講義の「コーヒー学」を受講しコーヒーインストラクターの資格を持っていた学生が多くいたこと、稚内がコーヒーの歴史に深く関わっていること、多くの喫茶店があることなどが結びつき、同イベントを思いつきました。

大学卒業後も実行委員そして同イベントに関わり、気が付けばあっという間の10年間でした。

例年、稚内の雪まつりイベントと同じ日に開催していました。今年は日程の関係で単独の開催となりましたが、それでも多くのお客さんが来場してくださりました。地域に根付いたイベントになったと実感しています。



吉岡 大輔 さん(2018年度卒)

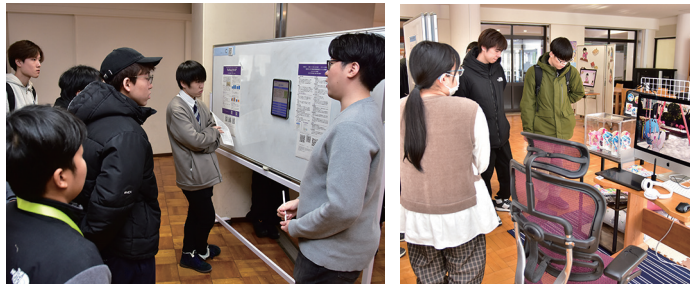
ポスター掲示形式で卒業研究・卒業制作発表会

2月5日（木）、本学ロビーを会場に、卒業研究・卒業制作発表のポスター展示を行いました。

卒業研究・卒業制作は、4年生が各自でテーマを決め1年間研究し、その結果を論文や作品で発表する大学の学びの集大成です。

昨年度までは、一人ずつ発表を行っていましたが、今年度は、自身の研究した内容や作品をポスターにまとめ掲示し、質疑応答を行う形式で実施し、活発な説明や意見の交流が行われました。

また、同会場には、4年生以外の学生も足を運んでおり、先輩が何の研究をどのように行ったのか、などを確認している学生も多くあったのが印象的でした。



市内各所で活躍しています 卒業生にインタビュー⑥

宗谷漁業協同組合 高橋 諒介さん

なぜ、宗谷漁業協同組合さんを選びましたか？

小学生の頃、親戚の昆布干しを手伝っていたのが漁業に興味を持ったきっかけでした。

大学在学中に進路選択を行っている際、漁業関係の仕事で、大学の卒業生が多くいる宗谷漁業協同組合さんに就職を希望し試験を受け内定を得ました。



どのような仕事内容、職場ですか？

基本的には集荷をメインで行っています。陸揚げされた海産物の計量、伝票の作成、データ入力などを行っています。事務仕事と現場仕事、半々という感じです。定期的な陸揚げがピークのタイミングとそうではないタイミングがあるのですが、手が空いている時期は信用部（金融）のお手伝いも行っています。

職場では、先輩や上司のサポートを得て、覚えながら、仕事をしています。また、漁師さんと接する機会が非常に多く、とても親切にいただいていると感じています。

仕事で気をつけていることは何ですか？

ミスをしないよう丁寧に正確に行うことに気を付けています。

また、多いときにはタコがトン単位で入ってくることもあります。体力も必要ですので、体調管理にも気を付けています。

今後に向けてのキャリアアップについて、どうお考えですか？

資格取得を考えています。フォークリフトの免許、中型免許の取得のほか、レーダーの国家資格（海上特殊無線技士2級）の勉強をスタートする予定です。

最後に一言お願いします。

宗谷漁協では、1月タラバガニ、3月毛ガニ、ナマコ、5月タコ、9月シャケ、11月ホタテと一年中様々な海産物を扱っています。

宗谷の海で採れた海産物が日本国内や世界に向けどんどん出荷されていきますので、その力になれるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

「eスポーツ体験」 「ミニカーリング体験」を開催！

11月1日（土）、みどりスポーツパークを会場に、公開講座「eスポーツでカーリングの良さを体験しよう！」と『ミニカーリング』でリアルなカーリング体験しよう！を開催し、多くの市民の方に参加いただきました。

「eスポーツ体験」では、ゲーム上でカーリング体験、「ミニカーリング体験」では、リンク上でカーリングのストーンを投げる体験会を行いました。両講座を受講された方が多く、ゲーム上と実際のリンクでの違いを肌で感じられていました。

また、スタッフとして本学学生も多く参加し、参加者との接し方、イベント運営等について学びいい機会になりました。



学習支援活動 豊富町「ウィンターチャレンジ」

1月7日（水）から9日（金）の期間、豊富町を会場に「学びの教室ウィンターチャレンジ」が行われ、本学学生が先生役になって、豊富町の小中学生への学習支援活動を行いました。

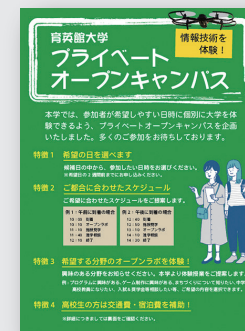
これまで課題であった、学生間の情報伝達を強化し、全員で目標を設定・共有した上で誰かに負担が集中しないよう入念な準備を行いました。

一人ひとりに明確な役割を割り振ることで、特定の個人への負荷集中を避け、例年以上にスムーズな連携が取ることができました。

その結果、参加した子どもたちからも多くのポジティブな感想をいただきました。



個別に大学を体験！プライベートオープンキャンパス開催中



本学では、進学を考えている皆さんに、希望の日時に個別に大学の雰囲気を感じられるよう、プライベートオープンキャンパスを企画しています。お申し込みは本学HPから受け付けております。多くのご参加をお待ちしています。

興味のある分野の講義を体験！

例：プログラムに興味がある、ゲーム制作に興味がある、中学・高校教員になりたい など

